

参考資料1 士別市立病院の現状

(令和7年8月1日 特別委員会使用資料)

令和6年度病院事業会計決算見込みから

士別市立病院の現状

○基本理念

患者さん中心の医療を行い、地域から信頼される病院づくりを進めます。

○基本方針

1. 患者さんの意思を尊重し、尊厳を守る医療の提供に努めます。
1. 地域の連携を深め、地域完結型の「治し支える医療」の推進に努めます。
1. 医療人として自ら研鑽に励み、地域の医療水準の向上に努めます。
1. 公共性を確保し、効果的で健全な病院経営に努めます。

令和7年8月1日

令和6年度からの取り組み①

経営強化プラン改訂に併せて見直した「基本理念・基本方針」に基づき、「治し支える医療」の推進に努めています。

○129床体制による病棟再編

- ・2F病棟再開とともに地域包括ケア病床を拡充
(一般55→50、地ケア24→39、療養54→40床)

○医師確保

- ・4月から消化器内科医師1名増
- ・市長も招聘活動に参画、7年度はさらに5名確約(退職3あり)
- ・静岡病院、旭川医大、北大からの地域医療実習生受け入れ

○診療報酬改善

- ・医療コンサル支援を受け改善策の実行とノウハウ蓄積

令和6年度からの取り組み②

○ベッドコントロールと退院調整手法の見直し

- ・患者さん(家族)、病院ともにメリットを得られる基本的考え方
- ・看護部「ベッドコントロール会議」による退院・転棟決定

○総務省経営アドバイザー事業による経営支援

○情報発信ツールの充実

- ・これまでのホームページに加えインスタグラム開始
- ・病院応援隊に依頼し「応援隊だより」の増刊

○院内組織体制の見直し

- ・意思決定機関として「院議」を、プラン進捗管理を担う「経営強化本部」を設置し定期開催

令和6年度からの取り組み③

○職員働き方改革への対応

- ・タスクシェアWG議論による部門間の応援体制を推進
- ・医師定年を65→67歳へ延長する条例改正
- ・夜間休日の緊急入院負荷に対する手当創設

○令和7年度に向けた職員採用計画

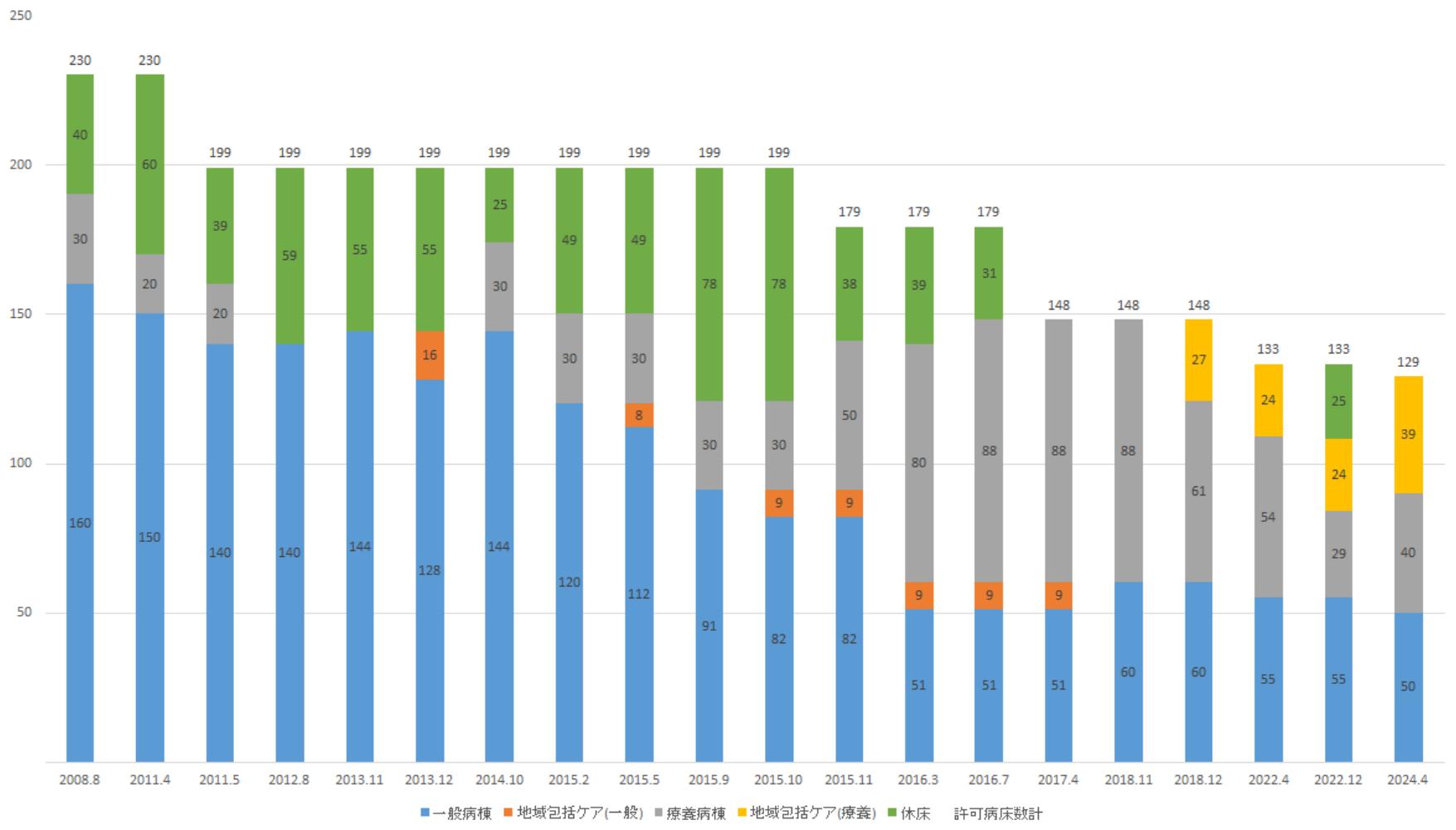
- ・今後の医療提供体制を見据えた医療技術職の活用
- ・養成機関への積極的な募集情報の働きかけ

○医療の質の向上

- ・患者の尊厳を守る「エンドオブライフケア」の実践を開始
- ・胸部X線撮影におけるAI診断システムの導入
- ・市で進める医療介護連携ネットワークへの参画

許可病床数の推移

許可及び運用病床数の推移



入院・外来患者数の推移



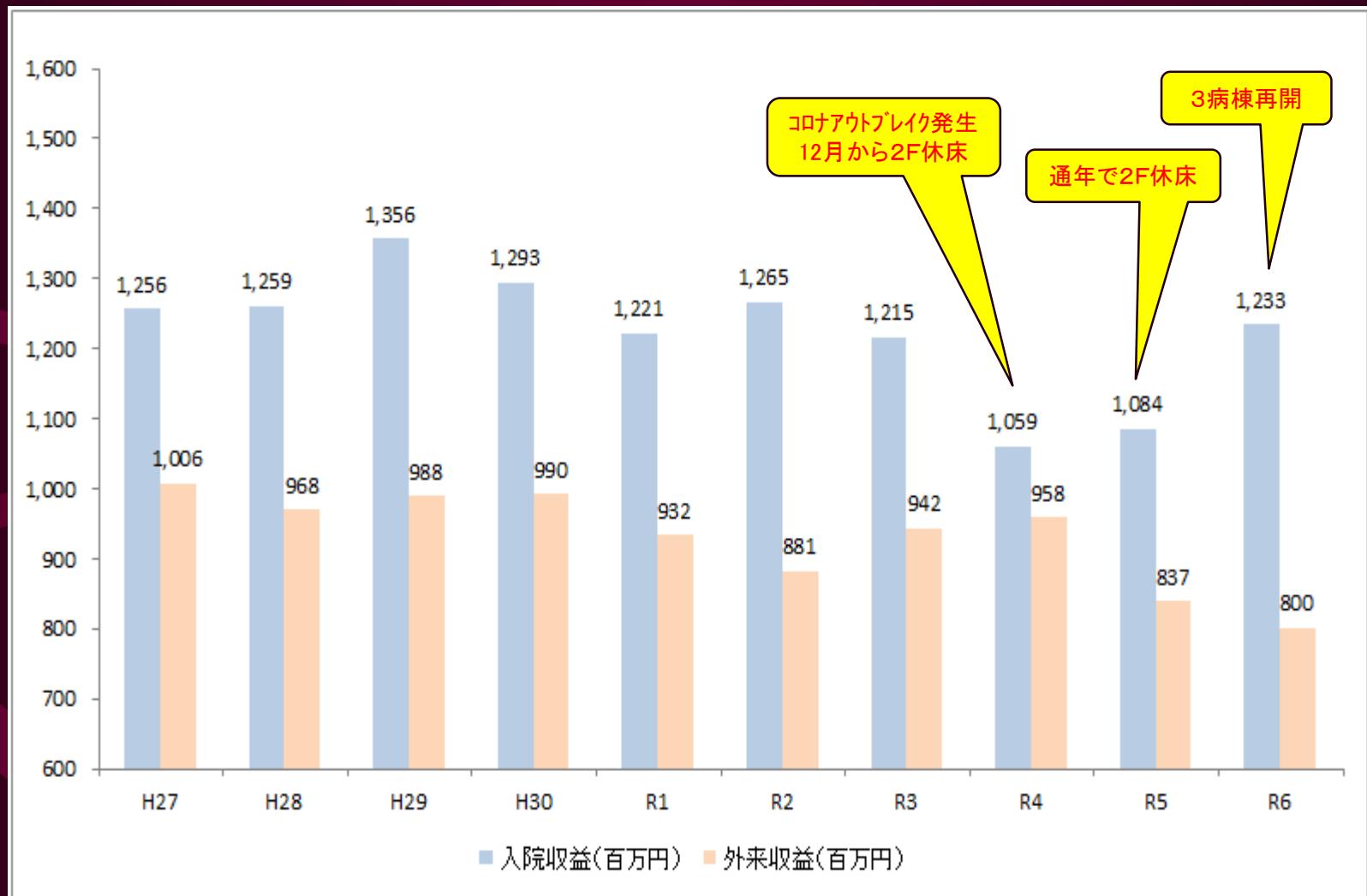
病床稼働率の推移



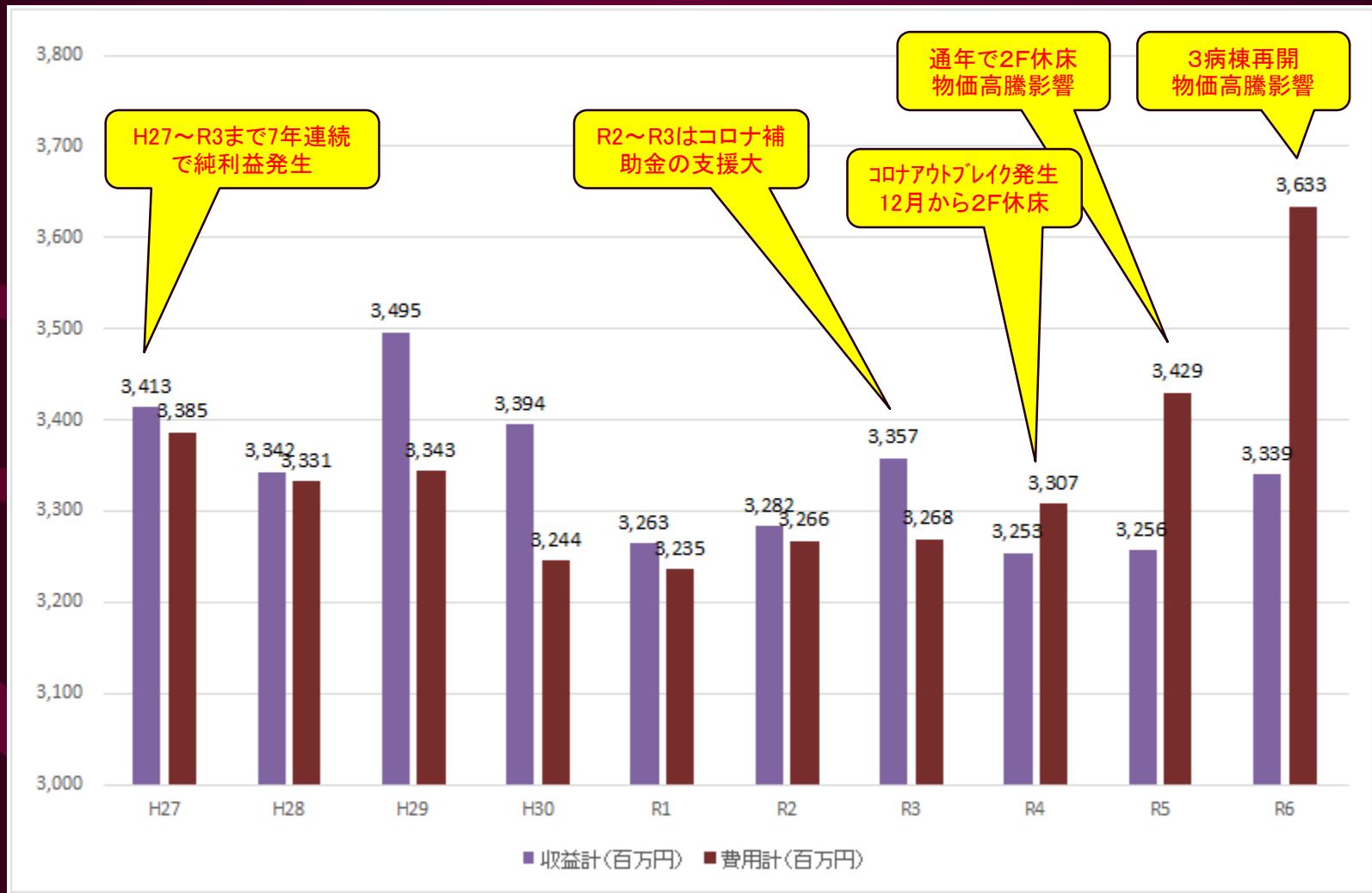
診療単価の推移



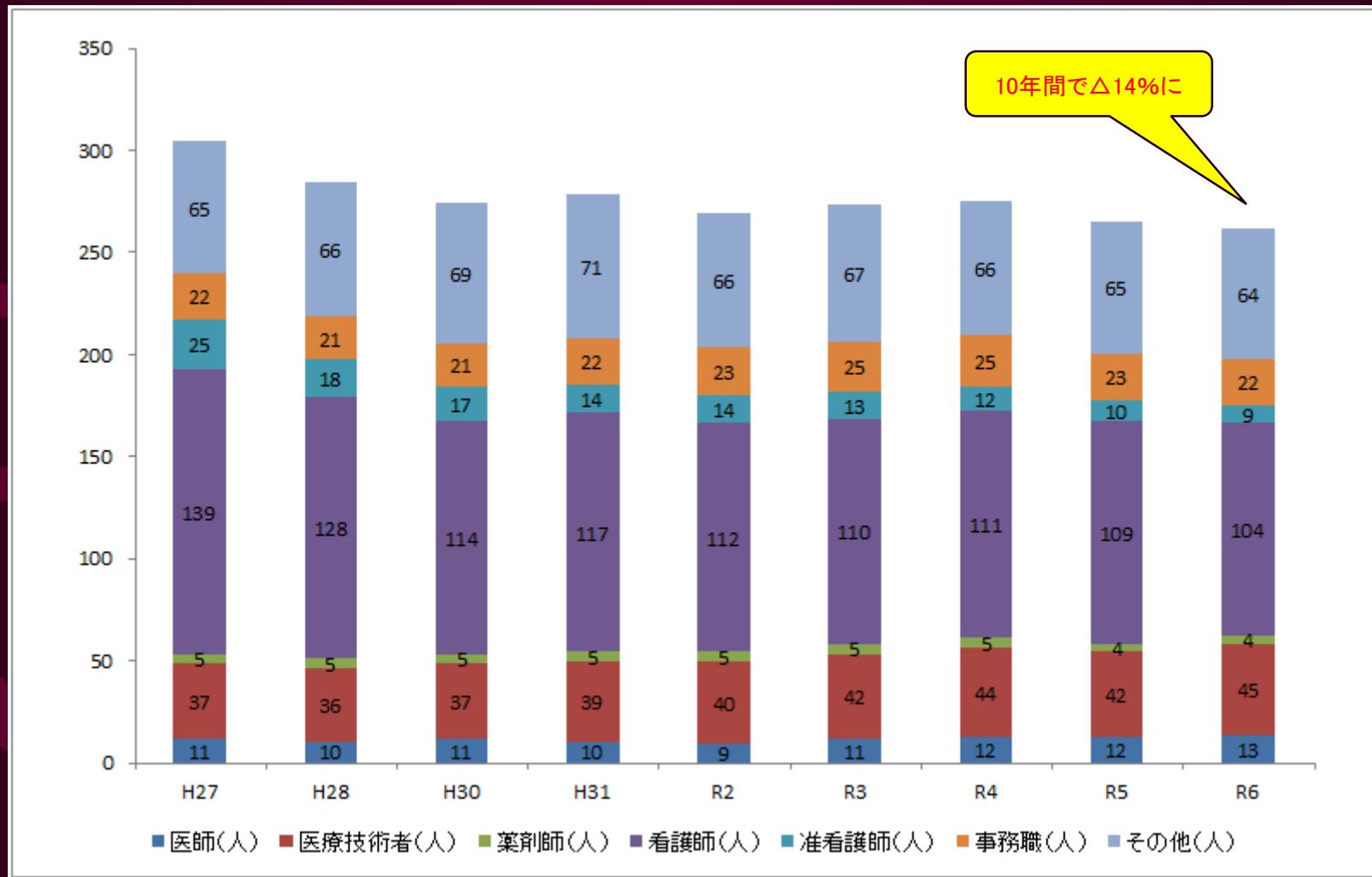
診療収益の推移



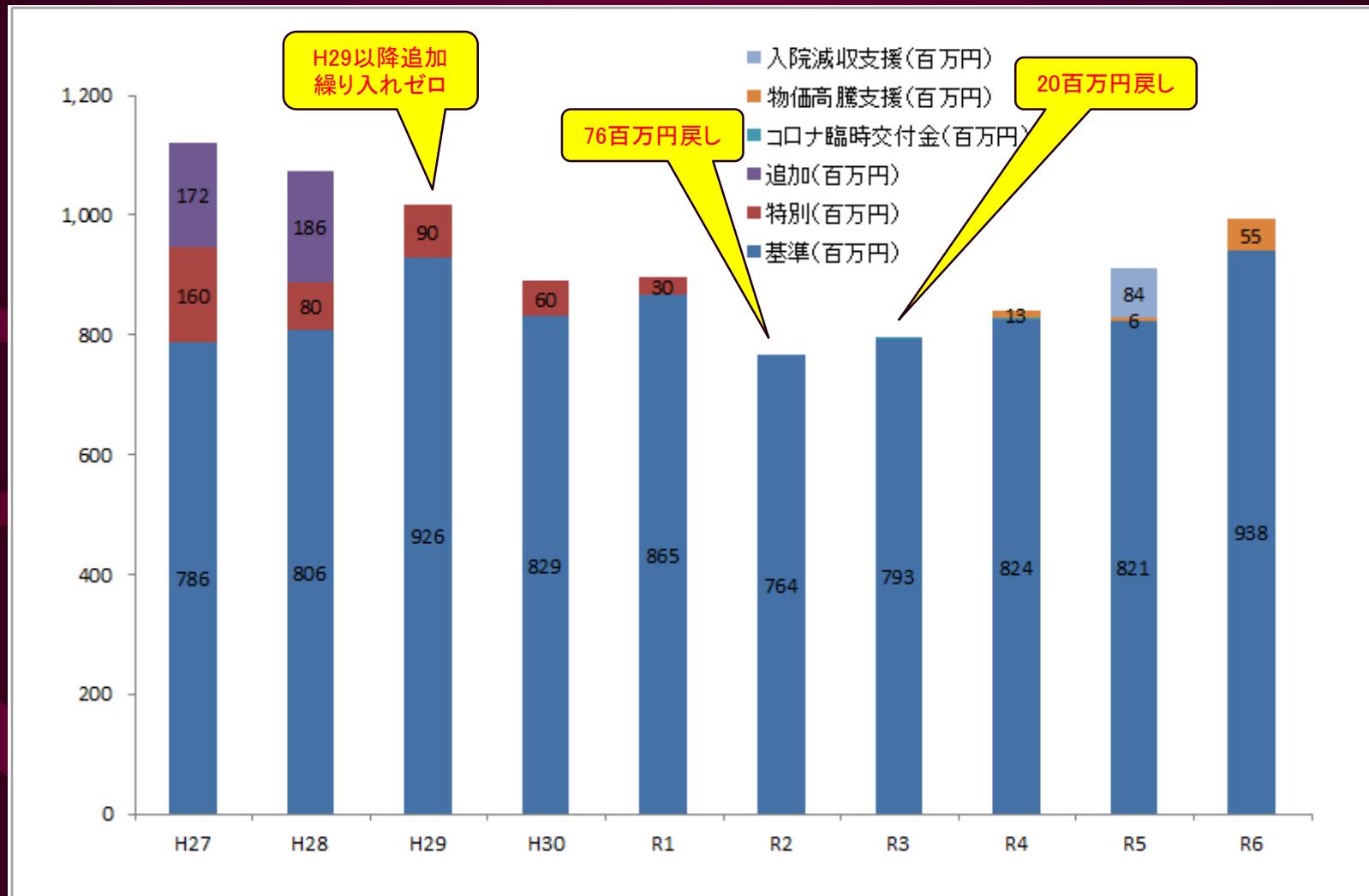
収益的収支の推移



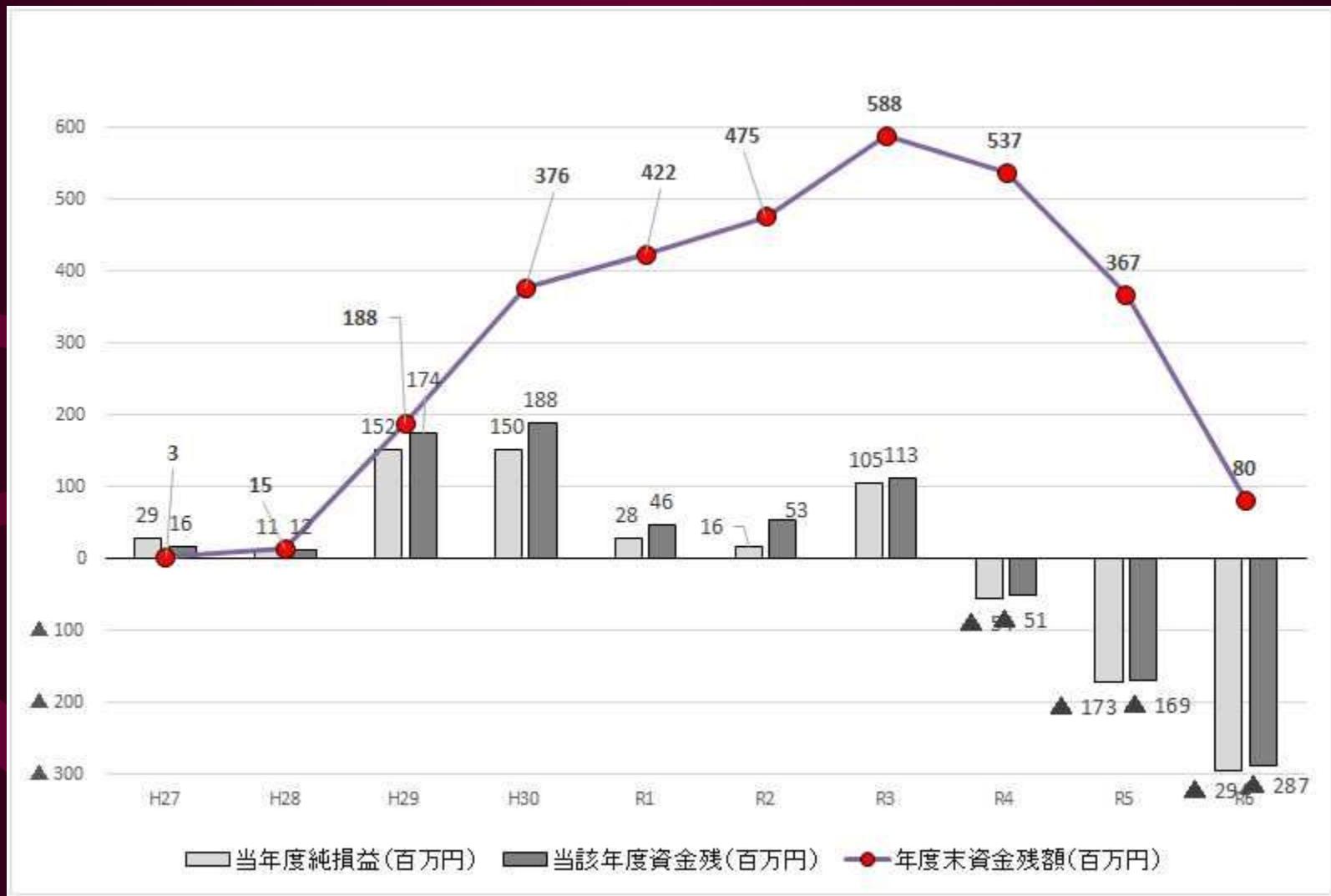
職員数(会計年度含む)の推移



一般会計繰入金の推移



資金収支と純損益の推移



令和6年度における課題①

○2024診療報酬改定では急激な物価高騰等を吸収できず

- ・職員人件費(処遇改善が必須)
- ・薬剤及び診療材料
- ・電気料金、重油
- ・給食食材費
- ・人件費を伴う業務委託

※診療報酬は公定価格のため価格転嫁できない構造

※全国の病院のうち「7割」が、道内公立病院では「9割」が赤字との速報値データあり

○収益増を上回る費用増

- ・収益 (R5)3,256百万円 → (R6)3,339百万円 83百万円の増
 - ・費用 (R5)3,429百万円 → (R6)3,633百万円 204百万円の増
- ※121百万円の悪化

令和6年度における課題②

○外来患者数の減少

- ・(R5)90,954人 → (R6)88,720人 2,234人(2.5%)の減
※士別市人口(2.5%)の減と同期

○看護スタッフの人員確保

- ・3病棟体制の安定稼動が必須
- ・夜勤従事者確保の困難
- ・患者高齢化に伴う看護業務の増
- ・産休、育休、中途退職
- ・休暇取得への体制担保
- ・人材派遣会社からの「派遣ナース」支援(補正予算措置)

○施設老朽化による修繕費発生